会　報

第170号
（2007年1月）

関西ハーモニカ連盟

KANSAI Harmonica Association

関西ハーモニカ連盟
会報　第１７０号（2007年1月号）
発行部数 350 毎年4，7，10，1月に発行（送付はそれぞれ前月中下旬）

関西ハーモニカ連盟　組織　2006年10月26日現在

理事長　仲村　眞　〒545-0005 大阪市阿倍野区三明町2-6-10
☎06-6624-5606　FAXも同じ

副理事長兼事務局長
田中　祥雄　〒610-1127 京都市西京区大原野上里鳥見町14-20
☎075-331-1033　FAXも同じ

副理事長兼編集局長
吉村　則次　〒591-8008 堺市北区東浅香山町3-104-5-201
☎072-251-9398　FAXも同じ

事業部長　梁木　進　〒599-8116 堺市東区野尻町192-20
☎072-286-4889　FAX 072-286-4890

研修部長　寺村　安雄　〒590-0133 堺市南区庭代台1-37-20
☎072-297-5737　FAXも同じ

組織部長　岡谷　秀喜　〒584-0072 富田林市高辺台3-4-61-204
☎0721-28-5071　FAXも同じ

会計部長　後藤　貞男　〒596-0005 岸和田市春木旭町36-17
☎0724-41-0552　FAXも同じ

部長・局長を除く常任理事及びその担当（五十音順）
姉川敏彦(事業)、入江章次(編集)、梅田恒弘(事務)、岡村貞彦(事業)
金川 一(事業)、金丸寿夫(事業)、楠 陽児(事業)、笹山恵司(会計)、田代敏胤(事業)
西本豪介(研修)、吹上晴彦(研修)、保理江元子(事業)　12名

理　事（五十音順）
青木 聰、新井尚子、稲垣裕子、井上純一、今井倫子、今井康郎、上垣博子、川畑壽一、
神戸栄一郎、木谷悦子、久保田 隆、小林由美子、斎藤正勝、坂田利雄、坂木吉丸、
酒巻勇二郎、園 真佳、高阪他美子、高瀬豊一、田口幸輝、谷口昌子、辻田鑛三、辻部暁子、
出村佳津男、戸田秀徳、中西康四郎、新山ミツ子、林 一義、早川直也、原田忠雄、藤本 勇、
松川義明、光野利一郎、宮本一男、村田 潤、もり・けん、山本健司、山森ふさ子、吉見 治、
吉見 忠、和谷篤樹　41人

会計監査　村上博昭
常任顧問　酒井凉爾、板村忠重、新井善久、大石喜一郎、白鳥達夫、飛田保雄
顧　問　織田太郎、筒井松太郎、西田幸司、畑 婦美子、村上浩一、山村信彦、渡辺 昇
特別顧問　森本恵夫、齋藤壽孝、徳永延生、和谷泰扶

入会のご案内　組織部長

入会費1000円、年会費（1-12月）個人会員5000円、地域外個人会員5000円、
賛助会員（業者）10000円

ハーモニカが好きなかたなら、吹くかた吹かないかた、上手なかた下手なかた、上手になりたいかた、ニュースだけほしいかた等、どなたでも入会できます。関西地区以外のかたは「地域外個人会員」となります。入会金と年会費をお近くの郵便局から次の指定振替口座に振り込みください。振込払込票の通信欄に「入会申込」と記入してください。

郵便振替口座　00950-6-115527　加入者名　関西ハーモニカ連盟

会員名簿(氏名、住所、電話番号)は原則として公表いたしますが、本人からの申し出により住所と電話番号は公開しないことができます。

9月までに途中入会の方には、当年度（4月号以降）のバックナンバーをお送りします。10月以降入会のかたは、特に申し出がない場合は、翌年度入会の取り扱いとなります。

本誌では、特別顧問を除く会員の敬称を省略しております。ご了承ください。

関西ハーモニカ連盟 会報 2007/1月号 目 次

表 紙 ハーモニカ 提供 森本恵夫氏 裏表紙 ハーモニカ 編 集 局
2007年度定時総会（１／８北京料理徐園にて）招集ご案内 理 事 長 3
連盟主催チャリティ・ハーモニカ・コンサート（2007/3/4）ご案内 事 業 部 4
第18回関西ハーモニカ祭りは2007/10/14 長岡京市文化会館で 事 業 部 5
当連盟特別顧問斎藤壽孝氏音楽生活50周年記念祝賀会12/17開催ご案内 編 集 局 5
2007年度会報発行予定表 編 集 局 6
研修会のお知らせ(2007/4/1徳永延生氏) 研 修 部 7
佐秀会、楽理講習会開催のお知らせ（2007/1/8斎藤壽孝氏） 佐秀会支部連合会 8
第17回関西ハーモニカ祭り(10/15) アンケートの結果 事 業 部 9
ハーモニカ・カレンダー（行事の実績と今後の予定） 編 集 局 10
写真ニュース＝各地のコンサート、研修会、テレビ等＝ 編 集 局 13
関西ハーモニカポップス合奏団第31回定期演奏会開催報告 村上 浩一 18
ハーモニカでクラッシック、やよいミュージアムコンサート~新聞記事~ 中谷 晃 18
会報に関するアンケートの結果に関して 編 集 局 19
ハーモニカが上達する為の大切なこと(27)ハーモニカ教則本について 池田 輝樹 21
ハーモニカ響く復興へ、高槻の木谷さん国交省から感謝状～朝日新聞～ 編 集 局 24
第６回西日本Hコンテスト優勝の言葉、複音ソロ部門で一位を戴いて 桝谷 郁男 25
2006/10/1複音ハーモニカ修理と調律の研修会の報告 研 修 部 26
修理と調律の講習を終えて 株式会社 鈴木楽器製作所 山口 牧 26
近年にない盛況ぶり、南大阪Ｈ祭り、｢南大阪はＨが盛ん｣を証明 ＭｉＯＨＡＳ27
プロのシャンソン歌手山口早智子氏と共演 笹山 恵司 28
垂水ハーモニカ友の会 活動報告 垂水Ｈ友の会29
新しいハーモニカ向きカラオケＣＤ 吉村 則次 30
「ハーモニカでアカペラ演奏」の記事から学ぶ 姉川 敏彦 31
アンサンブル優勝にはアドラーの曲等を？ 吉村 則次 32
鬼に金棒 四方ハモ話（8） 光野利一郎 33
老人施設での演奏のプログラム 吉村 則次 34
あらいなおこ ＣＤ発売及び2006/12/30コンサートご案内 編 集 局 33
老人施設での演奏プログラム 匿 名 34
岡直弥君、徳永延生氏が5000人の前で演奏、道上洋三パーソナリティで 吉村 則次 35
吉澤妙子さんがポール・モーリアの「恋はみずいろ」を追悼演奏 吉村 則次 35
自分で作れるHの便利品の紹介 簡単マウスピース、音階スケール 姉川 敏彦 36
イナバウアーもとび出したサマーコンサート 菅村 一雄 37
プログラムは送らないでください～編集後記～ 編 集 局 長 38
新しいハーモニカＣＤ 吉村 則次 38
会員異動のお知らせ 組 織 部 長 39
日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会の関西の役員 編 集 局 39
六島昭治さんの死を悼む 村上 浩一 40
徳永延生 三田市白い絵本教室生徒募集 編 集 局 4

誌面の都合により、ハーモニカをＨと表示している場合があります。
次号(2007/４月号)の原稿締め切りは２／23(金)、発行は３／19(月)

同封物

定時総会出欠回答はがき
あつぎハーモニカコンサート2007のチラシ、あらいなおこ2006/12/30コンサートのチラシ
日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会演奏会(6/10和歌山)ご案内と出演者応募要領

'０６－１２－ ６

連 盟 会 員　各 位

関西ハーモニカ連盟
平成１９ 年度 "定時総会" 招集ご案内

関西ハーモニカ連盟
理事長　仲 村　眞
担当　事務局長　田 中 祥 雄
TEL･FAX ０７５－３３１－１０３３

平成１９年度連盟定時総会を下記の通り開催しますから、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

１. 日　時　　平成１９年１月　８日（祭日）　午後3時より **定時総会**
尚、総会に先立ち午後 **１ 時**より**理事会**を開催します。
（理事の方は必ずご出席願います。）

２. 場　所　　大阪市西区江戸堀１－１５－３０　北京料理　**徐　園**
最寄駅　地下鉄四ッ橋線　肥後橋駅下車（地図参照）TEL06-448-5263番

３. 議　題　　①　平成１８年度事業報告の件
（コンテスト・ハモ祭り・研修会など）
②　平成１８年度収支決算の件

③　平成１９年度事業計画承認の件
（早春チャリティーコンサート・
ハモ祭り・研修会など）
④　平成１９年度予算案承認の件

⑤　その他（理事の推薦）

尚､総会に欠席の方で特に異義の申し出のない人は､一切を理事長に委任したものと見做します。又、会報に会員名簿の掲載を拒否される方はハガキにX印をして下さい。

総会終了後､同じ場所で**懇親会**を持ち親睦を図りたく存じます､ご出席下さい。

（午後５時頃の予定）　懇親会の会費　６，０００円　当日徴収します。

出・欠は同封回答ハガキにて、<u>１２月２５日(月)までにご返送下さい</u>。

理事会は､理事以外の会員の方も自由に傍聴は出来ます。

以　上

平成１９年度　早春ハーモニカ・チャリテイーコンサート開催に当たって

関西ハーモニカ連盟事業部

この度関西ハーモニカ連盟の主催で、　平成１９年３月４日（日）にサンスクエア堺に於いてハーモニカ・チャリテイーコンサートを開催する事になりました。　ハーモニカを通じた社会貢献の一助として入場料を有料としてささやかながらもそれに見合うような演奏者を配して、出来るだけ多くの収益金を作り、国際援助、　あるいは福祉団体に寄贈する目的で行います。

世間一般の方にハーモニカ世界を認識（注目）して頂くと共に、　マスコミにもハーモニカの存在意義を訴え、　理解を得るほか、一般のハーモニカ愛好者にも刺激を与える効果が有れば、コンサートの開催意義は大きいものと確信します。

会報、　ホームページまたは先日行われた関西ハーモニカ祭りに於いて皆様が推薦された方々の中から当連盟の運営委員会で若干名を決定をさせて頂きました。　他に過去の日本内外のコンテストの上位入賞者や、今年度のアジア大会、西日本コンテストの上位入賞者、或いは関西において指導的な立場の方々等にも演奏をお願いする事になりました。
出演者は現在依頼中に付き現段階では公表出来ませんがご期待ください。

記

名称　：　早春ハーモニカ・　チャリテイー・コンサート
開催日　：　２００７年３月４日（日曜日）
場所　：　サンスクエア堺　B棟ホール（４００席）
　　堺市　JR堺市駅下車すぐ
主催　：　関西ハーモニカ連盟

チケット販売と申し込み方法

入場料　：　２，０００円（指定席）
販売時期　：　１２月４日以降
申し込み方法：　郵便、Fax 又はメールで受け付けしております（電話不可）
（枚数、　電話番号、　郵便番号、　住所の明記ねがいます）
売り切れ次第締め切らせて頂きます。　一人４枚以内でお願いします。

５９９－８１１６
堺市東区野尻町１９２－２０
梁木　進
TEL　：　０７２－２８６－４８８９
FAX　：　０７２－２８６－４８９０
メール：　s.hariki@glayva.net

徳永　延生ハーモニカ教室
白い絵本教室　生徒募集中
三田市大川瀬８８６－１　Cafe & Rest 白い絵本 月1回 火曜日
問 徳永 06 6934 7266

平成１９年の関西ハーモニカ祭りは、１０月１４日長岡京記念文化会館で

事　業　部　長

当連盟主催のハーモニカ祭りは、一昨年１７年度は兵庫県尼崎市アルカイック・ホール、昨年１８年度は大阪狭山市さやかホールと、各地持ち回りで開催しました。

１９年度は京都府・滋賀県ということで会場を探しました。その結果

１０月１４日　日曜日　長岡京記念文化会館

（京都府長岡京市、阪急電車長岡京下車、徒歩５分）の大ホール（席数1000）で開催することとなりました。

会員においては、時節柄いろいろ行事を計画されておられることと思いますが、この日はあけて他のスケジュールを入れないようにご注意いただきたくお願いします。

今回は過去４回と異なり、一つの会場となりますが、その運営方法は、今後会員皆さんのご意見等も伺ったうえ、実行委員会等で討議の上、決定いたします。

その運営要領は、６月１８日に発行予定の７月号会報でお知らせし、募集要項をお示しして募集を開始いたします。

当連盟 特別顧問 斎藤壽孝氏の「斎藤壽孝音楽生活50周年記念祝賀会」のご案内

編　集　局

掲題の祝賀会が、2006/12/17日曜日12時から、東京の新宿「京王プラザホテル」で発起人（発起人代表はトンボ楽器製作所社長、全日本ハーモニカ連盟会長の真野泰治氏）により開催される。当連盟の会員では、次のかたが発起人に名前を連ねておられる。（五十音順）宇佐美進、白鳥達夫、筒井松太郎、徳永延生、仲村眞、西田幸司、飛田保雄、もり・けん、吉村則次、和谷泰扶。

詳細は次のとおりですから、参加ご希望のかたは個別にお申し込みください。

日　時　　２００６／１２／１７　日曜日　正午　受付は午前１１時
場　所　　東京　新宿　京王プラザホテル　４階「華」の間
参加費　　１２０００円
申し込み方法　ＦＡＸまたは郵送で次のところへ。
（株）マインドシェア内　斎藤壽孝音楽活動50周年記念実行委員会事務局
TEL 03-5232-0321　FAX 03-5232-0586
メールアドレス: juko50@mindshare.co.jp 担当 丸田、西居

～主なプログラム～
開会あいさつ、祝辞、乾杯、歓談（演奏、金井英人トリオ）、
祝賀演奏（門下生、ゲストによる演奏）

2007年 会報発行予定表　　編　集　局　長

号数	月	原稿 締切	発行日	特別内容	同封物
171	4月号	2/23 金曜	3/19 月曜	総会決議事項報告 収支決算表、予算表 新役員表 各部局年間活動計画 チャリティコンサート	
172	7月号	5/18 金曜	6/18 月曜	ハモ祭り出演者募集	ハモ祭り申込書
173	10月号	8/17 金曜	9/17 月曜		10/14ハモ祭りプログラム
174	2008/1月号	11/9 金曜	12/3 月曜	定時総会招集通知	総会出欠はがき

発行日は表示月(号)の前月の中下旬の月曜日
原稿の締め切りは、発行日の約１カ月前の金曜日、編集局長宅到着基準
印刷業者への原稿送付は、締切日直後の月曜日
印刷完了納品は、発行日の前週の金曜日

年間行事予定と記事・同封物との関連

3月4日のチャリティコンサート 内容は１月号会報に掲載済み、入場券も発売済み
10月14日 関西ハーモニカ祭り(担当 事業部) 運営要領、募集案内を７月号に掲載
　　　申込書を同封
　　　プログラムは10月号(9/17発行)に同封
研修会（研修部） 毎号に次の３カ月分の予定を掲載

編集の方針　投稿歓迎

会報は、規約第３条の規定する当会の目的であるハーモニカの普及拡大及び会員相互の親睦を達成するための非常に大きな重要な手段の一つと考える。この目的を達成するためにその線に沿った次の記事を掲載する。原則として、ハーモニカに関連しない記事は掲載しない（拡大解釈してハーモニカに関連するであろうと考えられるものは掲載する）。
①当連盟の活動及び当連盟の会員の活動（他地域での活動を含む）の予定と結果の報告及び写真。所管地域における会員以外のかたのハーモニカの行事、教室の案内と募集。
　会員は無料でコンサート、教室、ＣＤ楽譜等の宣伝を掲載することができる。
②当連盟会員にも関係すると思われる全国的あるいは世界的な行事も掲載する。
③当連盟の活動を他の地域へ知らせることも目的とする。
④演奏技術、楽器の解説、メンテナンス等
⑤毎号50ページ前後とする。

レギュラー記事　投稿歓迎

ハーモニカカレンダー（ハーモニカ行事の記録及び予定）
写真ページ、会員及び演奏団体の活動状況、教室の状況、教室の案内
レターボックス（会員等からの便り）、会員の異動
演奏技術向上のための記事、ハーモニカそのもの（ハード）の知識、音楽の知識

費　用

１冊あたり製作費用約400円、郵送費用200円、合計600円　製作部数330部
当連盟の活動の宣伝及び情報交換のための贈呈、新規入会勧誘のための予備印刷がありますので、会員一人１回あたり900円がかかっております。年４回で3600円。
みなさんからの年会費5000円のうち約70%を会報費用に使っております。

１月以降の研修会開催のお知らせ　研修部

リズムトレーニングセミナー
初級から中級まで

上記の研修会を、下記の要領で開催しますので、ご希望の方はご予約をお願いします。

1、日　時　2007／4／1　日曜日　13:30～16:30　受付開始　13:00

2、テーマ　リズムトレーニング

3、講　師　**徳永　延生　氏**

1950年生まれ。大阪市在住のプロクロマチックハーモニカ奏者

スタジオミュージシャンとしてテレビのＢＧＭやドラマなどの音楽に参加。有線放送のＢＧＭのハーモニカ演奏のほかハーモニカ講座も担当

1995年、横浜で開催された国際ハーモニカフェスティバルでは日本代表としてＪＡＺＺのガラコンサートに参加。リー・オスカーやピート・ピーダソン、クロード・ガーデンたちと競演。

自宅や楽器店でハーモニカ教室を開き、後進の指導にも力を入れている。その生徒の中からは、日本チャンピオンや世界大会のチャンピオンも多数出している。

2002年には、ブルーノート大阪へアロージャズオーケストラのゲストプレーヤーとして出演。そして2005年には韓国でＣＤを発売。韓国ＥＢＳ放送のスタジオコンサートを行い、大きな反響を得ている。

レパートリーは童謡からセミスラシック・ボサノバ・スタンダードジャズとたいへん幅広い。

その個性的でダイナミックなセクシーサウンドはTokunaga Soundとしてすでに確立されている。

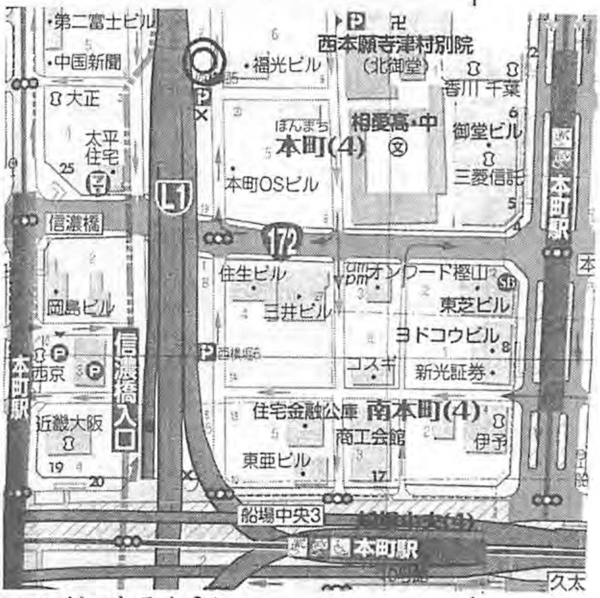
4、場　所　愛日会館３階（あいじつかいかん）地図の◎印のところです。

大阪市中央区本町４－７－１１

地下鉄本町駅から歩５分

ＴＥＬ　０６－６２６４－４１００

ＦＡＸ　０６－６２６４－４１０１



5、費　用　運営費、場所代及び資料印刷代として１人1000円　当日支払いください。

6、人　数　申し込み順60名（予約必要です

7、申し込み先　　高阪他美子

ＦＡＸ　０７８－７４３－０８６５

8、問い合わせ先　研修部長　寺村安雄

ＦＡＸ　０７２－２９７－５７３７

9、講習の内容

メトロノームを使って簡単なシンコペーションができるように

研修会は会員以外のかたも参加できます。生徒さん等お誘い合わせの上お出でください。

佐秀会関西支部連合会からのお知らせ

ハーモニカ研修会開催

佐秀会関西支部連合会

楽　理　講　習　会

上記の研修会を、下記の要領で開催しますので、ご希望の方はご予約をお願いします。

1、日　時　2007／1／7　日曜日　13:30～16:30　受付開始　13:00

2、テーマ　楽理講習会

3、講　師　**斎藤　寿孝　氏**

1938年 東京に生まれる。中学時代、父親の影響でハーモニカに親しむ。

1955年 高校2年生のとき、ハーモニカを佐藤秀廊先生に師事

1986年 全日本ハーモニカ連盟より第6回《ハーモニカ大賞》を授与される。

1991年 アメリカ・デトロイト市で開かれたWORLD HARMONICA CHAMPIONSHIPS'91アンサンブル部門で優勝。全日本ハーモニカ連盟の理事長に就任。

1995年 横浜で開かれた"国際ハーモニカ・フェスティバル95ジャパン"の実行委員長に就任し活躍。同年「民謡ハーモニカ」を開発し、実用新案登録。

2003年 テイチク・レコードよりＣＤデビュー(2006年までに10枚リリース)。同年、"東海道ハーモニカリレーコンサート"を企画・実施(2004年まで8カ所で開催)。

現在、全日本ハーモニカ連盟理事長。プレーヤーとして、編曲家、指導者として、またイベント・プロデューサー、文筆家としても国際的に活躍中。

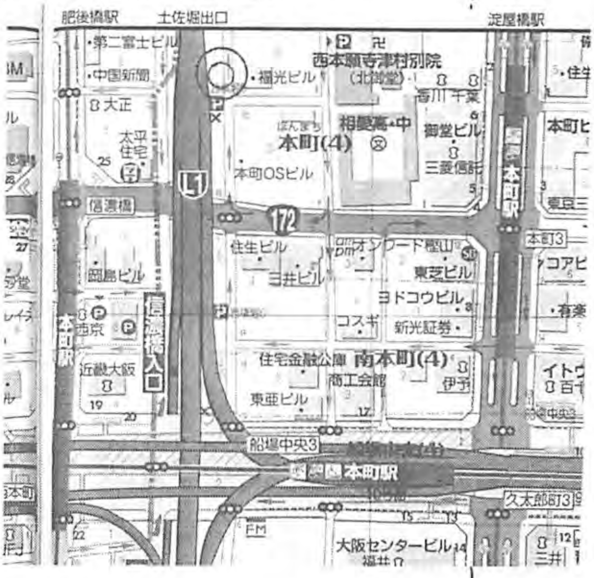
4、場　所　愛日会館3階（あいじつかいかん）地図の◎印のところです。

大阪市中央区本町４－７－１１

地下鉄本町駅から歩５分

ＴＥＬ　０６－６２６４－４１００

ＦＡＸ　０６－６２６４－４１０１



5、費　用　運営費、場所代及び資料印刷代として１人3000円　当日支払いください。

6、人　数　申し込み順60名（予約必要です）

7、申し込み先　　高阪他美子

ＦＡＸ　０７８－７４３－０８６５

8、問い合わせ先

日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会

寺村安雄　ＦＡＸ 072-297-5737

9、講習の内容

１、「音楽技能検定」５級・４級　模擬試験と解説　　６０分

２、公認指導員試験（編曲・論文）　問題への対策　１８０分

「クライン・ガルテン（トリオ）が実技指導する」

上記の内容で実技指導する予定ですが、都合により変更もあります。

10、主催　佐秀会（日本ハーモニカ芸術協会）関西支部連合会

平成18年度関西ハーモニカ祭りアンケートの結果以下の通り（アンケート 回収枚数 90枚）

1 大ホールに音響効果を上げる為音響反射板をつけました。

1. 音響が良くなった 61
2. 例年と変わらない 12
3. 無駄な費用だった 1

2 観客に飽きのない様に照明に変化をつけました。

1. 良かった 69
2. 必要がない 1
3. 気がつかなかった 13

3 終演時間の短縮の為アンサンブル出演の申し込みは2曲から1曲に変えた事。

1. 時間が長くなっても従来の2曲の方が良かった 8
2. 時間短縮優先で1曲で良かった 70

4 小ホールで飛び入り、 ゲスト演奏、 公開レッスンにしましたがいかがでしたか？

1. 飛び入りについて （ 1. 良かった 2. 良くなかった 3. わからない）
良かった 26 良くなかった 2 わからない 23

2. 公開レッスンについて （ 先生の都合で取りやめになったが 1. 期待していた 2. あまり興味がなかった）
期待していた 31 あまり興味がない 9

3. ゲスト演奏について （ トリオABOがゲストとして出演したが 1. ABOで良かった 2. 飛び入りの方が良い
ABOで良かった 21 飛び入りの方が良い 3

5 出演者の出演分担金が高いとの不評がありますが、これを解決するために来場者からも入場料を徴収する事に

1. 賛成 13 2. 反対 35 3. どちらでも良い 22

6 開始時刻は何時頃が良いか また 終演は遅くても何時までにすべきか（今回は10時開演 4時終演でした）

開始時間			終演時間		
9時 1名	10時 71名	11時 2名	15時 5名	16時 45名	17時 13名

7 貴方は観客としてどちらの演奏に特に興味がありますか？

1. ソロの演奏 62
2. アンサンブルの演奏 28

8 毎年、参加人数が多いので連盟としては運営に苦慮しています。 ご意見をお願いします。

1. 2会場同時進行で参加者全員受け入れるべし 2. 2日間に渡って開催すべき
3. 夜遅くなっても構わないので1会場で開催すべき 4. 参加者を制限する為抽選で決めるべき

1. 30 2. 11 3. 15 4. 18

9 その他気がついた点が有りましたら自由に書いて下さい（裏面をご利用下さい）

1. 演奏中に入場せず終わってから入場許可するようにして欲しい
2. ハーモニカを習って初めてコンサートの存在を知り大変良かった。 知らない人の為にもっと宣伝をして欲しい
3. 聞く人のマナーがなさ過ぎる。 やはり無料の入場であるからでしょうか？
4. 演奏中に通路を堂々と歩いているのは良くない。 5. 午後の部の開始時間は13時で遅れたのは良くない
6. 司会者のしゃべりが多すぎた。 7. リハーサル室は特定の組が独占しましたが割り当てをするべき。
8. アンサンブル5分で出演料が高いと思う。 9. 昼食の時間に休憩を入れるべきだと思います。
10. 今年度は一団体1曲にしてだんぜんに良かった。 ただ一曲と決めてもけっこう時間の長い人がいたのは残念
11. 参加人数の制限は抽選ではなく、地区別、 指導者別、 アンサンブルを減らしてソロを優先にするのが良い

総評

アンケートの回収は90枚でしたが皆さんの意見の代弁として受け止めなければならない。 音響反射板取り付けと照明に工夫をした事、そして、時間短縮でアンサンブルが2曲を1曲にしたのはアンケートの結果の通りです。飛び入りはソロ・アンサンブル合わせて28組ありました。 公開レッスンとゲスト演奏に多くの期待が有りましたが出来なかった事が残念。 出演者の分担金を軽減するため入場者からたとえ少しでも集めてはどうかの問い対し賛成、 どちらでも良いの合計が反対とほぼ同数。 開始時間は10時終演が4時の意見が最も多かった。 出演者全員受け入れる場合は2会場同時進行が最も多く、 中には2会場より1会場で参加人数を制限すべきという意見も多くありました。 以外な事にアンサンブルよりソロに興味をもって聞く人の方が多かった事です。

＝＝ハーモニカカレンダー＝＝

２００６－１１－９現在

スペースをセーブするため、ハーモニカをＨと表示している場合があります。

演奏者、演奏会の名称、会場、問い合わせ先の順に掲載　敬称は、省略しております。

編　集　局

８／２５～２７　金～日　和谷泰扶　大津サマーセミナー
８／２８　月　寺村安雄と泉ハーモニックス　特養老人ホーム「カロス」
９／２　土　和谷泰扶セミナー　三木ミュージックサロン梅田　茶屋町グランデビル
９／４　月　スズキハーモニカ振興会第６回全国ハーモニカ研修会　写真ｐ13
講師　井上初美、楠光恵、大内友哉 大阪市立青少年文化創造ステーションKOKO PLAZA
９／９　土　寺村安雄　第７回永田峰亭書作展と第３５回白峰会記念展 ホテル第一堺
９／１０　日　吉村則次ほか数名　京田辺市　「チェンバロ」にて
９／１０　日　河内口琴隊　エーデル・ソアーヴェ　ホーナーハーモニカフェア
三木楽器そごう店12F　滝のひろば
９／１１　月　矢次保子　ジャズ・ファンタジー　マイク・デル・フェロートリオ
福岡市　ニューコンボ
９／１３　火　関西ハーモニカ祭り委員会　会場下見及び打ち合わせ　さやかホール
９／１４　木　山森ふさ子ライブ　草津近鉄デパート５階レストラン「モクモクの葡萄」
９／１５　金　寺村安雄 視覚障害者のための教養講座(講義と演奏)貝塚市立中央公民館
９／１６～１８　土～月／祝　スズキハーモニカスペシャル　三木楽器そごう店
山口牧氏　宮田薫氏　岡直弥氏　写真ｐ15
９／１８　月　寺村安雄　堺市東福祉センター（南風会）東福祉センタークラブ発表会
堺市南福祉センター　堺市南福祉センタークラブ発表会
９／１９　火　吉村ほか３名　京田辺市市民ふれあいロビーコンサート
京田辺市役所ロビー　ローカルテレビＫ－ＣＡＴでも放映された　写真ｐ16
９／２３　土祭　徳永教室発表会　鶴見区　万博公園内　陳列館ホール
当連盟の会員では、川本、赤崎、吉村、松川、山森　等が演奏した
９／２４　日　寺村安雄　第25回大阪市城東地区総会（宗教団体）ゲスト出演
９／２５　月　ハーモニカ祭り委員会
９／２８　木　吉村則次ほか４人　京田辺市　洛和会
９／２９　金　和泉フィルハーモニカ　和泉市総合福祉会館まつり
１０／１　日　連盟主催研修会　複音ハーモニカの修理調律
講師　山口　牧　氏（鈴木楽器販売(株)）　愛日会館　写真ｐ13
１０／１　日　中谷晃　府立弥生博物館やよいミュージアムコンサート　Ｈでクラシック
記事ｐ18　写真ｐ17
１０／１　日　滋賀ハーモニカ笑好吹（スウィング・ダックス＆ブルーレイクサウンズ
コンサート）
１０／７　土　寺村安雄　2006年元気フェスタin堺　堺市総合福祉会館
１０／８　日　梁木進　心斎橋そごう百貨店　滝の広場
１０／９　祭・月　岡直弥氏　堺市北花田阪急百貨店　店内演奏　写真ｐ15
１０／９　祭・月　クロマチック吹きまくり会　西宮市フレンテ西宮
１０／１４～１５　土日　第11回浜松１泊２日ハーモニカセミナー 舘山寺サゴーロイヤル
１０／１５　日　関西ハーモニカ祭り　大阪狭山市　さやかホール
１０／１５　日　大石昌美　３曲演奏　ＮＨＫ－ＢＳ２　昭和の歌人 浜口庫之助 写真ｐ16

１０／２２　日　ハーモニカ２グループ 京田辺市民音楽祭 同志社女子大学ホール写真ｐ16
１０／２３　月　事業部委員会
１０／２８　土　和谷泰扶コンサート　京都　金剛能楽堂
１０／２９　日　徳永延生ライブ　三田市　白い絵本
１０／２９　日　関西Ｈポップス定期演奏会 メイシアター中ホール 記事ｐ18写真ｐ16
１０／２９　日　岡 直弥 ホーナーＨフェア 心斎橋そごう12階滝のひろば
１０／３０～３１　月～火　スズキＨ振興会研修会 浜松 アクトシティ浜松 研修センター
講師　町田明夫、井上初美、柳川優子、大内友哉、鶴田亘弘、浅見安二郎
１１／３　祭　徳永延生　岡直弥
ＡＢＣラジオ おはようパーソナリティ道上洋三　記事ｐ35写真ｐ17
１１／３　祭　松田幸一　京都　都雅都雅
１１／４　土　松田幸一　大阪　長堀橋ＰＥＮＡ
１１／４　土　垂水ハーモニカ友の会第２回発表会 垂水勤労市民センター３階
１１／５　日　松田幸一　高槻市立生涯学習センター
１１／５　日　南大阪ハーモニカ祭り　堺市総合福祉会館６階ホール 記事ｐ27写真ｐ14
１１／６　月　連盟役員会（３役と事業部長）チャリティ・コンサート出演者選出
１１／６　月　徳永延生　メモリーズ・オータム・ランチ・コンサート　心斎橋Pannnam
１１／６　月　中谷晃　サンライフＨ教室開講　和泉市三林町サンライフ和泉
１１／７　火　徳永延生　「ケンゾー」リサイタル　大阪リサイタルホール
１１／９　木　山森ふさ子ライブ 草津近鉄デパート５階レストラン「モクモクの葡萄」
１１／１０　金　会報2007／１月号原稿締め切り
１１／１１　土　14:00 Ｂｏｍ ｘ Ｂｏａ　ＮＨＫ総合テレビ　土曜スタジオパーク
１１／１２　日　Ｈフレンドコンサート　宇治日和　都クロマチックＨクラブ主催
１１／１２　日　堺女性大学クロマチックコース　堺市芸能百華出演
１１／１２　日　寺村安雄とローズ・ヒップハーモニカクラブ　東大阪市東大阪体育館
１１／１２　日　徳永延生　コンサート　藤井寺　オバンザイ
１１／１５　水　20:00 Ｂｏｍ ｘ Ｂｏａ　ＮＨＫデジタルハイビジョン　シブヤらいぶ館
１１／１８　土　寺村安雄と泉ハーモニックス　和泉市アイアイロビークラブ発表会
１１／１８　土　徳永延生　京阪香里園 Sea Press
１１／１８　土　クロマチック吹きまくり会　福島区喫茶グロリア
１１／１９　日　徳永延生　韓国ドラマ特集　ライブスポット・アロー
１１／１９　日　吉村則次ほか　京田辺市　九十九園
１１／２２　水　18:00 Ｂｏｍ ｘ Ｂｏａ　ＮＨＫ ＢＳ－２　シブヤらいぶ館
１１／２３　祭木　寺村安雄　堀部隆次アコーディオン発表会ゲスト出演　オースクホテル
１１／２５～２６　土日　スズキ・ハーモニカ・スペシャル　宮田薫
心斎橋　そごう12階　三木楽器そごう店
１１／２６　日　徳永延生 ブルーノート大阪
１１／２６　日　中谷晃と和泉フィルハーモニカ　和泉市民文化祭、弥生の風ホール
１１／２６　日　神戸マリン・ハーモニー第３回ハーモニカ発表会 神戸中華会館７階
１１／２９　水　関西Ｈフレンズ主催 楽しいＨコンサート 茨木市男女共生センターWAM
１２／３　日　寺村安雄合同ハーモニカクラブクリスマスコンサート
堺市泉ヶ丘駅前「泉ヶ丘センタービル」大集会室
１２／４　月　連盟部局長会議　１８年度事業計画、予算案等審議
１２／４　月　会報2007／１月号　発行　総会招集通知

１２／６　水　14:00　吉村則次ほか　阿倍野区　やまき・あべの苑
１２／７　木　徳永延生　京都ブレラ
１２／８　金　中谷晃と和泉フィルハーモニカ 和泉市福祉協議会文化祭 弥生の風ホール
１２／９～１０　土日　梁木教室　温泉旅行　大阪府 犬鳴グランドホテル紀泉閣
すべて込み17000円　問、梁木　進
１２／１０　日　ソフィア堺　陸上自衛隊信太山クリスマスパーティ　和泉文化ホール
１２／１６　土　徳永延生　中村泰士コンサート　ヒルトン大阪
１２／１６　土　寺村安雄　東大阪ライオンズクラブ　ファミリークリスマスパーティ
１２／１７　日　特別顧問 斎藤壽孝氏 ハーモニカ50周年記念式典 東京プラザホテルｐ５
１２／１８　月　常任理事会　総会に諮る議案の審議、事業計画、予算案等
１２／２２　金　18:30 徳永延生 木谷悦子 メリー・クリスマス　泉佐野市　泉の森ホール
2500円 問 072-469-7100 ホール
１２／２４　日　クロマチック吹きまくり会　フレンテ西宮
１２／３０　土　あらいなおこコンサート　京都大谷ホール　3500円
問　大谷ホール　075-371-6181　同封ちらし参照
２００７／１／７　日　日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会主催研修会　愛日会館
講師　斎藤壽孝氏　案内ｐ８
１／８　祭　当連盟定時総会　北京料理　徐園　招集ご案内　ｐ３
２／２３　金　会報４月号原稿締め切り
３／４　日　当連盟主催チャリティ・コンサート　堺市　サンスクエア堺　案内　ｐ４
３／１９　月　会報４月号発行
４／１　日　当連盟主催研修会　講師　徳永延生氏　愛日会館　案内ｐ７
５／１７～２０　国際音楽祭　インスブルック
アコーディオンとハーモニカの国際コンテストやコンサート　問　072-251-9398　吉村
５／１８　金　会報７月号原稿締め切り
６／１０　日　日本Ｈ芸術協会関西支部連合会主催コンサート　和歌山市民会館
同封の案内、申込書等参照
６／１８　月　会報７月号発行　関西ハーモニカ祭り出演者募集開始
１０／１４　日　当連盟主催　関西ハーモニカ祭り　長岡京市長岡京記念文化会館　ｐ５

スペースの関係でハーモニカをＨと表示している場合があります。
問い合わせ先　徳永延生 06-6934-7266　中谷晃 0725-56-2907　寺村安雄 072-297-5737
その他　吉村則次 072-251-9398
また氏名のみを記載して、問い合わせ番号が記入していないものは、会報７月号に会員名簿が掲載されておりますので、それをご覧ください。

ハモ祭り出演取消について関係者にお詫び申し上げます

関西ハーモニカ連盟事務局長

第１７回関西ハーモニカ祭り開催に当たり一部申込者に設備の関係で（伴奏用のピアノが簡易の電子ピアノになり）連絡の手違いにより、出演を取消になる事態となり大変ご迷惑をおかけしたことを深く反省しお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

当連盟主催の研修会
2006/10/1 愛日会館にて
複音ハーモニカの修理調律
講師は鈴木ハーモニカ製作所
山口　牧　氏

スズキハーモニカ振興会主催の研修会 2006/9/4 大阪市立KOKO PLAZAにて

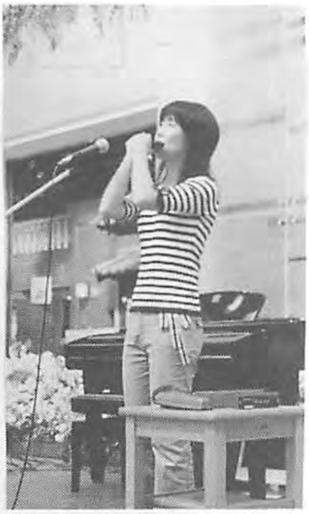
講師陣によるデモ演奏　左から　山口牧氏、大内友哉氏、井上初美氏、楠光恵氏

岡　直弥さん　2006/8/13 よみうりテレビ「スタびか」すごいキッズとして演奏

第8回南大阪ハーモニカ祭り
2006/11/5 堺市総合福祉会館6階ホールにて

↑初出場の中谷晃と和泉フィルハーモニカ
モーツアルトのアイネクライネナハトムジク1,2楽章を演奏

2006/10/29 関西ハーモニカポップス合奏団定期演奏会　吹田市メイシアターにて



西日本ハーモニカコンテストジュニア優勝の岡直弥さんクロマチック優勝の宮田薫さん
2006/10/29 大阪心斎橋そごう百貨店　ホーナーハーモニカフェアにて

岡直弥さん　2006/10/9 堺市北花田阪急百貨店子供用品売り場にて

最近のテレビから

2006/10/15 NHK-BS2 昭和の歌人から 大石昌美氏

2006/10/22 京田辺市民音楽祭から 右側は当連盟常任理事保理江さん
K-CAT テレビから

K-CATテレビから

吉村則次および法円坂のメンバー 2006/9/19 京田辺市民ロビーコンサート

徳永延生氏および岡直弥さん　ABCラジオ　おはようパーソナリティ道上洋三です
2006/11/3 堺市大泉緑地公園で5000人の前で生放送

中谷晃と和泉フィルハーモニカ　2006/10/1 やよいミュージアムコンサート
大阪府弥生文化博物館にて　上　挨拶する中谷晃　下　フィルハーモニカのメンバー

関西ハーモニカポップス合奏団
第３１回定期演奏会開催

副会長　村上　浩一

平成18年10月29日（日）吹田市メイシアター中ホールにおいて午後１時20分開催しました。

ことしのメインテーマは「音楽の情景」というネーミングではじまりました。

第１部のテーマは「四季」で　○アレルヤ　○春の海　○春の歌メドレー　○夜霧よ今夜も有り難う　○夏の日の恋　と演奏のあと、秋のうたメドレーでは、特別出演の京都名誉友好大使の元上海プロ歌手の凌淑倩さんが美声でうたいあげました。続いて○スケーターワルツ　○新雪　○津軽海峡冬景色を合奏して第１部を終わりました。

第２部は、ことしは独奏と重奏をはじめる前に酒井会長から挨拶があり、団員高齢化（平均75歳）ながらも、ますます元気で頑張っていきたいと今後の抱負が語られ、このあとハーモニカよもやま話に来場者一同楽しく聞き惚れていました。

つづいて独奏に入り、○仲村眞の「さくらのワルツ」　○今井康郎の「夜のプラットホーム」　○入江章次の「コンドルは飛んで行く」　○松川義明の「愛のミロンガ」を笠井泰子さんのピアノ伴奏で演奏、つぎに山村信彦の「コーカサスの風景より村落」を演奏、２部の最後は３１８カルテットの「夜霧のしのび逢い」と台湾民謡の「杵歌」でしめくくりました。

このあと、会長が米寿のため、団員一同でお祝いの花束贈呈を行い、拍手の中、第２部を終了しました。

第３部は、テーマ「愛」で、○愛の挨拶　○愛燦燦（凌淑倩さんの歌入り）　○白い恋人たち　○星影のワルツ（凌淑倩さんの歌入り）と演奏を終わり、最後にアンコール曲として「ラデツキー行進曲」を演奏、来場者の手拍子と一体となり、４時過ぎ盛大裡に終演しました。　（写真のページご参照）

弥　生　通　信　　2006年10月8日（日曜日）　　大阪府立弥生文化博物館　第23号

第6回 やよいミュージアムコンサート ハーモニカでクラシック

10月1日（日）、第6回目となるミュージアムコンサートがおこなわれた。「ハーモニカでクラシック」と題された今回は、中谷　晃氏の指揮のもと、山本比登美氏によるピアノ演奏や、和泉フィルハーモニカによる演奏がおこなわれた。中谷氏は長年、中学校の音楽教師を勤められ、吹奏楽の指導では多数の金賞・優秀賞を受賞。西日本大会で優勝し、全国大会にも出場している。一方、山本氏は幼少の頃に始めたクラシックピアノを起点に、現在はジャンルにとらわれないアコースティックサウンドアンサンブルを目指しておられる。一九九八年にはご友人と「Solface」を結成。老人ホーム、養護学校等での音楽ボランティアや教会でのライブ等の活動を続けておられる。和泉フィルハーモニカの演奏について冒頭、中谷氏は「まだまだ始めたばかり」と謙遜されていたが、息のあった見事な演奏が展開された。また、フィナーレの歌と合奏はお客様も引き込むほどで、心地よい一体感のもと、瞬く間に時間は過ぎていった。

会報に関するアンケートに関して
編　集　局　長

会報に関するアンケートを前号に同封し、提出をご依頼しました。
配布数321に対し回答提出数は17通で、全体の5.3%でした。
提出された大多数のかたからはお褒めの言葉をいただきました（不満のあるかたは「不満を述べる」よりも「アンケートを提出しない」という方を選択するということも分かっております）。
提出数が少数なので、この少数から全体の意見や要望をを推定して方向を決めるには危険がありますが、提出された意見を個別に吟味し、これからの会報に役立てたいと思います。
会報を読まれるかたは、演奏レベルの高い人から演奏レベルの低い人まで広範囲になっており、また複音愛好者と同時にクロマチック愛好者がおられますので、同じ記事についても、興味あり、興味なし、役に立っている、掲載不要等、相反する意見があるのは当然です。

寄せられたご意見のいくつかに対し、編集局長の考えを述べたいと思います。

◎敬称のつけかたについて。
敬称には様、殿、氏、さん、君、先生等いろいろありますが、本誌では特別顧問以外の会員については原則として敬称を省略することにしております。しかし文章の中に出てくる場合の氏名は、執筆者から見てその人に対する関係や、記事の前後の関係等で、会員であっても敬称をつけることがあります。
会員以外は、原則として敬称をつけるべきと思っております。女性や若いかたにも「氏」を使用することについて異議を唱えるかたがおられましたが、いちいちそのかたが若いかそうでないか、（氏名からも）女性か男性かを確認する方法がない場合は、一律に「氏」を使用するが安全と見ております。

◎レイアウトに検討の余地がある。
1、紙には表と裏がありますので、ページ数は必ず偶数にならなければなりません。
　したがって、予定していた記事をカットしたり、比較的重要性の小さい記事を入れたりすることもあります。
2、新聞や雑誌の類には、大きな空白を残すことはできません。
3、1ページを超す記事は、この記事のようにページをめくらなくても読めるように見開きの状態に配置することが必要です。

掲載の順序は、いちおう原則的には次の順序を考えておりますが、記事の長さや提出された時期により、必ずしもこのとおりには行きません。短い期間に編集事務を行いますので、先に到着している記事を締め切り日前に整理することがあり、したがって締め切りぎりぎりになって提出されたものが、後ろの方に回されるというのがありえます。失礼なことがあるかも知れませんがご理解ください。長い分量の記事をまず配置し、短い記事を空白に「囲み記事」で埋めて行くということも行います。記事の分量に重きをおきますので、必ずしも重要性の順にはならない場合があります。

大体の掲載順序
①連盟主催の行事の案内　ハーモニカ祭り、コンテスト、研修会等

②連盟以外のハーモニカの行事の案内
③すべてのハーモニカの行事のカレンダー
④過去のハーモニカ行事
⑤写　真
⑥特に時期に関係のない記事、技術的な記事、ご意見
⑦会員の異動

◎大阪南部の記事が多い

そのように意図的にやっているわけではありません。耳に入ったニュース、提供を受けた写真は公平に掲載しております。提出された原稿をボツにすることはありません。しかし編集局長がその地域に住んでいるので、その地域のニュースが多く耳に入るということがあるかも知れません。次の示すとおり当連盟の役員が偶然にこの地域に偏っていることも、大阪南部の記事が多い原因の一つかも知れません。

ご参考までに、大阪南部に住んでいる部局長
理事長（大阪市阿倍野区）、事業部長（堺市東区）、研修部長（堺市南区）、編集局長（堺市北区）、会計部長（岸和田市）、組織部長（富田林市）

大阪南部以外の地域に住んでいる部局長　事務局長（京都市西京区）のみ

また、編集局長がクロマチックの人ですから、当然クロマチックのニュースが多く入ります。特に差別をしている訳ではありませんので、ご了解いただきたく思います。

◎封筒の発送人に旧役員名が載っている

会報の送付用の封筒は、費用の観点からも１回に2000部発注しております。１回の発行数が300部あまりですから、６回分（発行は１年に４回ですから１年半分です）ということになります。したがって、役員の改選時期によっては、ある時期に旧役員が表示されたまま残っていることがあります。現在が、たまたまその状態であって、事業部長、研修部長、組織部長が古いまま残っております。

費用の面から古い表示の封筒を廃棄する訳にも行かず、また訂正の紙を裏のり付きで作成して貼りつけるには、作製費用と貼りつけ手間で、新しく封筒を作成するより大きな費用がかかります。（封筒は全数委託している発送業者の倉庫に保管されております。）

現在の封筒は2007年１月号でだいたい終わる予定ですから、それ以後は順次新役員が表示されることになります。

◎字を大きくしてほしい。

編集局長も70歳を超えており、加齢にともない視力が弱まることも分かっております。当連盟会員の年齢別構成は、正しい資料はありませんが、高齢社会であるのは確かであり、会報が読みづらいかたも多いことも推定されます。

いつサイズを大きくすることに踏み切るかが今後の検討課題になります。字を大きくするには、会報の大きさを現在のＢ５判からＡ４判にすればいいことで、印刷費用、郵送費用に大きく影響を与えることはありません。

現在の方法は、原稿はＡ４判の紙に10.5ポイントの大きさで印字して作成し、印刷するときに印刷屋でこれを写真も含めＢ５判に縮小してもらっています。したがって、この縮小の作業をしなければ、大きな用紙（Ａ４判）で、大きな文字で作成できます。

昭和二年五月十五日印刷
昭和二年五月二十日發行

定價金六十錢

著者　東京市小石川區白山御殿町三十五番地　後藤源次

印刷發行者　東京市下谷區上野櫻木町十七番地　井上博一郎

發行所　東京市下谷區上野櫻木町十七番地　ハーモニカ社

• 音樂商報社印刷所印刷 •

著者近影

ハーモニカが上達する為の大切なこと（27）

全日本綜合音楽院・院長
F.I.H(世界ハーモニカ連盟)日本支部役員 池田　輝樹

ハーモニカ教則本について《7》

大正時代に書かれた教則本は、他にもいろいろあると思いますが、以上書きました以外には、残念ながら私の手元にはありません。見つけるように努力はしておりますので、もし持っておられる方がおられましたならばお知らせ下されば幸いに存じます。

◎ハーモニカ博士
（ハーモニカを持つ人の一般知識）
著者：後藤源治（クラウン・ハーモニカ・バンド会長）
印刷兼発行者：井上博一郎　発行所：ハーモニカ社
昭和２年５月１５日印刷　昭和２年５月２０日発行　定価：六十銭

序

音楽の普及は文化事業のうち最も必要で又最も効果が多いことが述べられております。

音楽は古代民族の間にも立派なものが行われており、それに比べるとハーモニカは極めて最近のものであると言うこと。然しその進歩は目ざましいものがあり、どんな山間に於いてもハーモニカの音を耳にしない人はないでしょう。それほど他の楽器に比べて堂々とその勢力を広げております。現在、各学校や、鉄道、各会社等々にもバンドが作られており非常に心強く思います。そして、やがて民衆音楽として第一歩超越したものになる時代が来ることを確信しております。私は本書によって、初歩者諸君の為にハーモニカ独奏法、編曲法、修理法等々を一通り説明したいと思います。本書が少しでも御参考になれば甚だ幸いです。

以上のような意味の事が述べられております。

目次

はしがき（序）
著者近影・・・口絵
クラウン・ハーモニカ・バンド・・・口絵

独奏法

1、ハーモニカの種類と構造
（A）複音ハーモニカ　（B）重音ハーモニカ　（C）単音ハーモニカ
2、音階
3、調子
4、楽譜の見方　（A）速度　（B）休止符
5、主要記号
（A）拍子記号　（B）臨時記号　（C）反復記号　（D）その他
諸記号
強弱記号　速度記号　発想記号
6、吹奏法
（A）シングル奏法　（B）ベースの入れ方　（C）オクターブ奏法
（D）三度奏法及び五度奏法

楽譜編曲法

1、音名と階名　2、譜表　3、長音階と短音階　4、音階と調子
5、本譜より略譜　6、臨時記号のある場合　7、装飾音その他
8、ベースを取り入れる法　9、転調

合奏団編成法

1、ハーモニカ合奏楽器の種類及び使用法
2、オーケストラ楽器とハーモニカの関係
3、合奏のパート
4、合奏に於けるパート配置
5、バンド楽譜
6、指揮者の使命

修理法

1、破損の原因と種類　2、修理道具　3、解体　4、リードの取り替えと調子の取り方
5、組立　6、ハーモニカ手入れ保存法　7、ハーモニカの選択法
以上です。

一つ一つの項目について解説をしようと思ったのですが、長くなりますので、全体を通して感想を述べさせていただます。

まず、当時としては良く書かれた本だと思いました。

ただトリルとか装飾音符のところで気にかかる事がありました。たとえばミのトリルの3trの時に34343434と奏するのは吹き吸いの関係上35353535でも完全ではないが仕方がないと書かれております。又、装飾音符のところでも32や34等、吹き吸いの入ったものは、31や35に変えた方が理想的だと出ていますが、どちら共、音楽上から言うと間違いで、楽譜の通りに演奏しなければならないと思います。ただ当時は、大抵の人達がトリルや装飾音符等々はハーモニカが演奏しやすいように変えていたと思います。

又、ベースを取り入れる法のところで、ピアノの楽譜からメロディーとベースの取り入れ法について説明されており、楽譜に忠実よりもハーモニカに向いたような直し方が書かれておりますが、これも、楽譜に忠実になっていないので、どうかと思われる箇所もあります。

ただし、複音ハーモニカでベースを入れる時、和音的に出せない所はベースを休めば良いのです。又、大ベースと小ベース等が書かれておらず、楽譜に忠実になっていないので、どうかと思われる箇所もあります。これらのことも当時は大抵、この本のような考え方が多かったのではないかと思われます。

全体的にはよく書かれております。

転調のところでは、判りやすく言うと移動ドと固定ドについてのことが書かれており、又、合奏団編成法のところでは、オーケストラとの関係等も詳しく書かれており（オーケストラの楽器とハーモニカの関係等々）又、修理法のところでも大変くわしく書かれております。

後藤源治と言う方につきましては、クラウン・ハーモニカ・バンド会長と言うだけで詳しい資料は私の手元にはありません。ただ、昭和9年4月15日発行の音楽年鑑（編著者：財団法人東京音楽協会。発行所：音楽世界社）や昭和12年1月1日発行の音楽年鑑（編者：社団法人大日本音楽協会。発行所：合資会社共益商社書店）等にはつぎのように掲載されております。

後藤源治　東京市荒川区日暮里町1の1790、鶯声社内。ハーモニカ。

写真等々を示しておきます。

朝日新聞

9月6日　水曜日

クロマチックハーモニカを演奏する木谷悦子さん＝高槻市芥川町2丁目のハーモニカ教室で

ハーモニカ響く 復興へ

高槻の木谷さん 国交省から感謝状

04年10月の新潟県中越地震の復興支援のため、全国40カ所でチャリティーコンサートを開いた高槻市殿町のハーモニカ奏者木谷悦子さん(44)に北側一雄国土交通相から感謝状が贈られた。歌手の小林幸子さんや元プロレスラーのアニマル浜口さんら7人とともに8月23日に東京であった贈呈式で感謝状を受け取った木谷さんは、「各地でコンサートを手伝ってくれた人たちを代表していただいた感謝状」と話している。

（八尋紀子）

中越地震被災地支援へ全国で演奏会

「震災思い出し 役立ちたかった」

木谷さんは高槻市職員だった93年に楽器店で偶然、「クロマチックハーモニカ」を見かけ、プロの演奏に魅了された。わきにあるレバーで半音高い音が出せるなど、多様な音色に感動し、練習に打ち込んで、4年後には国際大会で優勝した。現在は市職員を辞めて同市内でハーモニカ教室を開き、月5回程度ライブ活動もしている。

復興支援のコンサートのきっかけはテレビで見た被災者のお年寄りの言葉だった。避難した体育館で「うちだけが大変なわけではない。みんなで乗り越えていきたい」と淡々と話す姿に、阪神大震災で高槻市の自宅がほぼ半壊の被害を受けた経験を思い出し、「なんとか役に立ちたい」と強く思ったという。メールでファンや知人約100人に「チャリティーコンサートを開けないか」と協力を呼びかけた。多くの賛同が寄せられ、05年4月、旧山古志村（長岡市）の住民が避難していた長岡市内の仮設住宅で第1回のコンサートを開いた。

童謡「ふるさと」を演奏すると約50人の観客は涙を流し続けていたという。活動資金には新潟県内の支援者から「山古志村をイメージした曲を作ってほしい」と依頼されて初めて本格的な作曲に挑戦して作ったCDの売上金をあて、ハーモニカとアンプを抱えて同年10月まで山形県から沖縄・宮古島まで各地を飛び回った。観客は計約5千人に達し、計111万円の義援金が寄せられた。

長岡市内で開いた最後のコンサートで「ふるさと」を演奏すると、約100人の観客から大合唱が響きわたった。もう涙はなかった。被災者から「山古志を第二のふるさとだと思って、今度は山古志村でふるさとを聞かせてほしい」と言われた。木谷さんは「避難している人たち全員が山古志村に帰ったときに、山古志村でコンサートを開きたい。それまでコンサートツアーは終わらない」と話している。

この記事は、執筆者から8／5に郵送されましたが、なにかの事故のために編集局長のもとに届かず、今回の掲載となったものです。　　編集局長

第六回西日本ハーモニカコンテスト
複音ソロ部門で　一位を戴いて

憧れの複音部門に優勝させていただいて有難うございました。

コンテストの出場は初めてです。

有名なびわこホールも初めてでした。

会場に到着してからですが　エントリーしてあった曲目「ああ上野駅」ではどうもコンテストにそぐわないようであることがわかりました。
急遽　曲目変更、自信の無いところに更に不安がよぎりました。
それでもやるだけのことはやろう、「荒城の月幻想曲」に致しましたが、最近練習しておりませんのでこころは平穏ではありませんでした、、しかし思い出こもった曲です。
「びわこホール」はたいしたホールでした、最初のオクターブを吹いた時　これが自分の音かと思うほど　綺麗な反響でした、それで少しほっとしこの様な立派なホールで演奏させていただけるだけでも幸せだと夢中で吹きました。落ち着こうとしましが、動揺し震えていました、何とか終わるのが精一杯。「終わりを大事に」をこころがけました。入賞などの自信は微塵もありません、

午後2時35分ごろ自分の責を果たしましたのでさっそく退散しようと思ったのですが、唯一の付き添い助手である家内が　折角このような良いところへ来れたのだから最後までおりましょうと言うから残りました。

予想に反して　憧れの森本先生からの一位発表を耳にして　表彰式など夢心地　取り乱してしまいました。

本当に有難うございました。

今にして思えば　慌てましたが　気取らずに吹けたのが良かったかも、とも思っております。
この曲は　昭和28年夏　丁度訪れた神戸そごうのとあるフロアーでハーモニカによる「荒城の月」の演奏を聴き鳥肌が立つほど感動し　当時まだその名も知らなかった佐藤秀廊先生にペン手書きの譜を戴きそれから自分で練習した思い出の曲です。
その貴重な譜だけが頼り、一人での工夫研究と練習、練習と言っても気儘なもので其の後30年ほどのブランクの時がありましたが・・・。

昭和58年NHK「世界に響けハーモニカ」のテレビをたまたま観て、あの「荒城の月」の演奏に接し、30年目の感動を味わったのが再練習のきっかけとなりました。
仕事柄充分な練習時間がとれず深夜になっての練習が多くなります。
とにかく　思い出の曲、憧れの曲で賞を取らせて戴きました。

これにおごらず、気取らずひとつひとつの音を大切に丁寧に練習に励みたいと

思っております。
　審査くださいました先生方、渾身のお世話をくださいましたご担当の役員さま
ご来場の皆様に　厚く御礼申し上げます。さらに　音感のない私を陰で支えてくれた
家内に感謝しています。
　有難う御座いました。
　これからは楽しく気楽に吹いてゆこうと思っております。

平成18年8月5日

桝谷郁男

研修会の報告　　研修部　寺村　安雄

10月1日（日）愛日会館（大阪市本町）に於いて、複音ハーモニカの修理と調律の研修会（講師山口牧氏）に、ご遠方より参加していただきましたこと、厚くお礼申し上げます。
アンケートの結果より　参加者　６７名（内スタッフ３名）
　　アンケート回収　４７名　一般愛好者　２６名、連盟会員２１名
　参加者の大多数の方々が、修理、調律に関しては未経験者でありましたが、講師の複音ハーモニカのカバーの取り外しからクリーニングの仕方、そして調律方法へと順序立てた解説、指導に、多くの参加者がこれを機会に、勇気を出して調律を試みてみるとのアンケート結果が得られました。

複音ハーモニカの修理と調律」講習を終えて

鈴木楽器製作所　山口　牧

　今回、私は「複音ハーモニカの修理と調律」と題する講習の講師を担当させていただきました。
　鈴木楽器製作所で約10年間、ハーモニカの組み立て、修理を担当しておりましたが、その経験がこのような機会に活かせていただける事を、大変嬉しく思います。
　私自身にとっても、大変勉強になる講習会となりました。
　参加していただいた皆様、関西ハーモニカ連盟の担当スタッフの皆様、本当にありがとうございました。
　今回の講習では、定員の60名を上回る大変多くの方に参加していただきました。改めて、ハーモニカ愛好家の方々の、ハーモニカの調律や調整に対する関心の高さを感じました。
　講習の中では、皆さんが一番関心のあると思われる、複音ハーモニカのトレモロ調整をするための知識についてお話しさせて頂きました。駆け足での講習となってしまい、分かりづらい点もあったかもしれませんが、調整工程の順序、注意点についての重要なポイントは、ほぼお話しできたのではないかと思います。
　カバーが無い状態できれいに吹く事、上げ身調整や調律などにおけるリードの扱いなど、実際の作業に慣れるまでには、たくさんの経験が必要になるかと思いますが、講習でお話ししたように、ハーモニカは、奏者が自分で納得のいく調整、調律が出来る事が理想だと、私は思っております。皆様の熱意があれば、かならず習得できると思います。失敗を恐れずに、どんどん、調整調律にチャレンジしてください！
（でも、できれば最初は失敗しても良いハーモニカで・・。）

近年にない盛況ぶり
第8回南大阪ハーモニカ祭り
「南大阪はハーモニカが盛ん」を証明

MiOHAS

毎年秋に定期的に開催しているMiOHAS（南大阪ハーモニカソサィアティ）主催の南大阪ハーモニカ祭りは、その第8回のコンサートを11月5日日曜日堺市の総合福祉会館6階ホール400席で開催した。最初の第1回は、8年前サンスクエア堺の100席の地下のギャラリーで始めたものだが、その後毎年参加者も増加して、今回はプログラム上で59件、延べ参加人数は同じくプログラム上で276名、飛び入りが数件あって合計60件を超える参加者で、11時から5時までの6時間で開催された。聴衆の数は、400席のホールをほぼ埋めていた。

今回の新顔は、大阪府の和泉市あたりで活躍している中谷晃氏と和泉フィルハーモニカの32名（実際の参加人数は20名であった）で、モーツァルト生誕250周年にふさわしく、アイネ・クライネ・ナハト・ムジクの第1及び第2楽章をピアノと鍵盤ハーモニカを入れて、礼儀正しく忠実に演奏されたことであった。またその代表で指導者の中谷晃氏は、複音ソロで同じくモーツァルトの交響曲を飛び入りで演奏された。

2006年の関西連盟主催の西日本ハーモニカコンテストのジュニア部門で優勝した岡直弥さん（法円坂アンサンブルのメンバーでもある）が、指導者の吉村則次氏とデュオでジャズの「センチメンタル・ジャーニー」及び「ラ・パロマ」を演奏し、またソロでは「ベサメ・ムーチョ」（別ページに記載のABCラジオで放送したものと同じ曲）を演奏され、大きな拍手を浴びていた。

今回は、常連の法円坂アンサンブル（旧名大東アンサンブル）、堺女性大学フラワーコース、ソフィア堺という吉村則次指導のグループからソロでの参加者が数人あった。その中でも吉澤妙子さん（連盟の会員、法円坂のメンバー）が別ページにも記載のとおり、開催日の朝の新聞やテレビで報じられたポール・モーリア（前日の11／4＝現地日にちの11／3に逝去された）の曲を演奏されたのは印象的であり、意義のあることであった。

飛び入りの中にはジャズピアニストの演奏もあった。（たまたま、複音ハーモニカ・ソロの辻部暁子さんのピアノ伴奏で来られたのですが、ピアノのソロを依頼したもの。）

堺市で多くの女性会員を有し、力がある堺市女性団体協議会という団体が堺女性大学を開いており、その中で長年クロマチックハーモニカの教室を開いてくれている関係で、この団体が毎回南大阪ハーモニカ祭りに対しても理解と力添えをいただいており、今回も「後援」とご寄付をいただき、その代表者のあいさつもあった。

堺市在住の梁木進、寺村安雄、吉村則次、原田忠雄、金谷輝夫等の指導者とその教室のメンバーとグループがソロ及びアンサンブルで大活躍し、「南大阪はハーモニカが盛ん」ということを証明したコンサートではあった。

プロのシャンソン歌手山口早智子氏と共演

笹山　恵司

さる10月19日（木）6時半から大阪天満橋近くのフランスレストラン・クードポールにてプロのシャンソン歌手山口早智子氏とディナーショーで共演しました。

筆者は堺市北花田にあるダイアモンドシティーで２年前から山口氏のフランス語講座「のんきなフランス語」を受講してきました。氏はプロのシャンソン歌手でもあり、今回急に話がまとまり、お招きを受けました。生のシャンソンを聞きながら美味しいお料理をゆっくり頂いた後、洗面所で歯を磨き、２曲演奏しました。内容はおよそ次の通り・・・

笹山のハーモニカソロ、増田まさしのピアノ伴奏で　グノーの「アヴェマリア」(F,F#)、増田まさしのピアノ伴奏で山口氏の歌と笹山のハーモニカのデュオ「ロマンス」(A,A#) (Henri Bassis 作詞/ Joseph Kosma 作曲)。(お蔭様で気持ちよく演奏できました。) 山口早智子のソロでラ・ボエーム他（勿論フランス語で)。　その他の出演者は　ソロの堀越喜久子、作詞作曲・自演の岡田淳の「フッレー！フレー！ガキンチョ！」他。その他、山口氏のシャンソンの生徒さん２名の飛び入りもあり、華やいだ中にもくつろいだ雰囲気でした。(約３０席はほぼ満席でした)

増田まさしのピアノは流石プロ！即興で繰り出すパッセージがゴージャスで舌を巻きました。岡田淳は多才。パソコンでカラオケまで自作でした。(約２時間があっという間に過ぎました。)

山口氏には今回このような、機会を作って下さり感謝感激です。有難うございました。

また、今回は急なお話で準備も練習もそこそこでしたが、吉村則次先生にはご愛用の PA 一式を快くお貸しいただき大いに助かりました。PA に関してはこれまで人任せで先生の講習会に参加してそれなりの知識は有りましたが今回、初めて実際に現場に運び込み、設置して調整操作してみて大変勉強になりました。あわせてお礼申し上げます。

お問い合わせ　　山口早智子　アトリエ・パリ主催　Tel , Fax　06-6946-5757

フランス料理・クードポール　　Tel　　06-6941-8577

垂水ハーモニカ友の会　新年度４月以降の活動報告

第二回　みんなのハーモニカ発表会

時　　　平成１８年１１月４日（土）　午後２時〜４時３０分

所　　　垂水勤労市民センター　レバンテ多目的ホール

昨年に引き続き第２回表記は発表会を開催した。出演者は２７名男女ほぼ同数演奏によつては観客から手拍子、コーラスの応援もはいり、アツトホームなみんなが楽しめた会だつた。神戸マリーハーモニーの友情出演、関西ハーモニカ連盟田中副理事長の飛び入り演奏にもおおいに会をもりあげていただいた。

想定以上の来場者で終始立ちずめの方々も多く、うち上げの場では「第三回はもつと広い会場、５００人収容のレバンテ大ホールで」というような勇ましい声もでていた。

ボランテア（定演等）活動

１、５月９日（火）　神陵台福祉センター

２、７月１９日（水）垂水ふれまち食事会（つどい）

３、８月　７日（月）ツクイ多聞台デイサービスセンター

４、８月２６日（土）西神駅（地下鉄）「愛は地球を救う」チャリチイイベント

５、９月１３日（水）コープこうべ東二見デイサービス敬老会

６、９月１７日（日）五色山６丁目自治会敬老会

７、１０月１２日（木）区役所内保健福祉フエヤーロビーコンサート（毎年）

８、垂水中央市場商店連合会主催第３回ふるさと市「物産交流店イベント」
垂水駅東口駅前広場１１月５日

定演の部

５月１１日（日）第１９回コープこうべ音楽のつどい於、東灘区民うはらホール

６月２５日（日）神戸まつり協賛事業「区民の音楽の広場」　レバンテホール

１１月１１日（土）垂水区民総合文化祭「区民音楽会」響けハーモニー

今後のボランテア予定

１月２５日「くつろぎの家エルフ」１１月２５日（土）デイサービス

１２月１３日（水）デイサービスセンターふるさと（須磨区塩屋）

１２月１９日カトレヤデイサービス西区クリスマス会

２０００７年1月２１日（日）垂水区五色山６丁目新設、祝
竣工記念自治会のイベント、出演予約済み

新しいカラオケＣＤ

吉村　則次

◎THE SOUND OF MUSIC サウンド・オブ・ミュージック合唱曲集　ヤマハ 2300円

リチャード・ロジャース作曲ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」の合唱曲集で、７曲が掲載され、ピアノ伴奏がＣＤになって付いている。

メロディは、大体３部になっており、ハーモニカ三重奏としても利用出来るのではないかと思う。

◎高嶋ちさ子クラシカル・セレクション＋１　ドレミ出版　2500円

高嶋ちさ子は、非常に人気のあるバイオリニストの一人であり、多くのＣＤを出されているが、今回彼女の「クラシカル・セレクション」というＣＤの収録曲の楽譜が出版された。16曲のピアノ伴奏譜面が掲載されており、うれしいことにそのうち次の４曲の伴奏ＣＤが付いている。

１　モーツァルト　ピアノ協奏曲２１番Ｋ４６７第２楽章

「短くも美しく燃え」という題でよく演奏されている曲である。

２　エルガー　愛の挨拶

３　プッチーニ　誰も寝てはならぬ　荒川静香がオリンピックで滑ったあの曲である。

４　高嶋ちさ子　エズ

◎葉加瀬太郎／スィート・メロディーズ　エイペックス　HUCD10022～3　3150円

楽譜は別売り　ヤマハ　GTW01080214　3150円

葉加瀬太郎の作曲のバイオリン曲ばかり15曲の演奏（ソロは葉加瀬太郎のバイオリン）とピアノ伴奏のカラオケの２枚組ＣＤである。2006年の西日本コンテストのフリー・ソロ部門で優勝し、台湾でのアジア太平洋大会の「なんでもあり部門」でも優勝した妹尾裕子さんが吹いていた「情熱大陸」も入っている。楽譜は別売りですから、ＣＤとは別に楽譜店で買うこと。

◎スタジオジブリ作品集（ヴァイオリン）　デプロ　2200円

「千と千尋の神隠し」「となりのトトロ」「魔女の宅急便」「もののけ姫」「ハウルの動く城」等の人気宮崎駿アニメからの曲のほか、２００６年公開の人気アニメの「ゲド戦記」から「テルーの唄Ｄ♭（＝Ｃ♯）」と「時の歌Ｂ♭（＝Ａ♯）」の２曲が載っている。伴奏はすべてピアノのみ。

「テルーの唄Ｄ♭」と「時の歌Ｂ♭」の２曲の私の模範演奏とピアノによる伴奏（カラオケ）を入れたＭＤを作成しております。ご希望のかたは、電話及びＦＡＸ072-251-9398へお知らせください。なお、「テルーの唄」の譜面は、数字譜とともにトンボファミリークラブ発行の「ハーモニカマガジン２００６秋号」ｐ３９に載っています。

◎豪華ミュージシャンと歌うイルカのジャズボーカル「ＡＮＹ　ＫＥＹ　ＯＫ！」

ヤマハ・ミュージック・メディア　2800円　見本演奏なしカラオケのみ

同名のＣＤの作成に使用した伴奏らしく、伴奏者、内容、音質（生楽器）とも問題なし。ただし、カラオケとして使うには、やや難しい。

『ハーモニカでアカペラ演奏』の記事から学ぶ

大津市　　　姉 川 敏 彦

前号の、「アカペラ演奏の魅力」という記事を拝見し、些か自分が学んできたことと異なる意味で使用されているので、おやおやともう一度勉強しなおしてみました。

『ア・カペラ（a cappella)』は、イタリア語であることは周知の通りですが、正確を期するために音楽事典を紐解いてみました。

◎（「礼拝堂風に」の意）ルネッサンス時代の教会合唱の様式。パレストリーナのものが代表的。広義には、無伴奏体の合唱の様式。　・・・広辞苑第５版

◎<礼拝堂または聖堂風に><聖堂のために>という意味で、すなはち楽器の伴奏を伴わない合唱曲をいう。パレストリーナの音楽が最も代表的なものとされている。以前は１６００年以前の音楽はすべてア・カペラと考えられていたが、正しくは宗教曲だけで、とくに１３００年〜１４５０年頃の世俗曲は楽器伴奏を伴うのが普通であった。
・・・標準音楽事典（音楽之友社）

いずれにしても**「楽器伴奏を伴わない合唱曲」**というのが今日的なとらえ方のようです。

記事のように（ハーモニカで、「アカペラでの演奏をしています。アカペラ演奏の魅力は何と言っても、ハーモニカだけの澄んだ美しいハーモニーにあると思います。特にバス、コードハーモニカを使わず・・・」以下省略）　一般的にア・カペラといえば、かっこいいかも知れませんが、本来の意味を崩しての言い方は注意しなければいけない表現ではないでしょうか。「フルートでア・カペラ」「ヴァイオリンでア・カペラ」というような言い方は通常しないと思います。ハーモニカによる無伴奏の演奏と言いたかったのではないでしょうか。

これは単にハーモニカ二重奏または三重奏でいいのではないでしょうか。合唱用語をあえて使われた意が理解できません。

それから、「テンション・コード」という語も使っておられますが、和声学の分野で調べましたがそのような語は見あたりませんでした。

一部の人の中で「テンション・コード」といわれているのかと思います。文脈から察すると「複雑または煩雑になるコード」のことを指していると思われます。もしも、存在するのでしたらお教えください。

私が日頃、思っていることと共通するところがありますので書き加えますと、記事に書いておられるように、総奏・２部・３部と音が重なり、からみ合う和音の醸し出す音の魅力は理解できます。

複音ハーモニカにはベースを入れて演奏する楽しさもありますが、複音であってもハーモニカとハーモニカまたは、それ以外の楽器とのアンサンブルの楽しさも知って欲しいと思い教室の練習には多く採り入れています。クロマチックも同じ気持ちです。

気をつけなければならない大きな問題があります。本来、複音ハーモニカの場合トレモロを付けるために２枚リードのピッチを意図的にずらしています。このずれが上手く調律されていれば

良いのですが、練習の過程で各個人のピッチがかなりずれている場合もあります。このような状態で合奏すれば・・・・おわかりの通り､美しい合奏がとてつもない合騒音になってしまいます。

ですから今後、私たちが気をつけなければならないことは、ハーモニカに限ったことではありませんが、音そのものに対して今以上に気を配ることも大切かと思います。

また、譜面上の音よりも実際に演奏されている音は、1オクターブ高いことを認識することも大切です。異常に高音での音の重なりは避けた方がいい結果が出るかも知れません。

それからもう一つ、ソロの演奏はとても素晴らしいのにアンサンブルとなると・・・？と言う人も以外といるものです（自省)。ソロ以外は演奏しないと言う人も、時にはピアノ伴奏や、ギター伴奏で演奏することもあります。小さなアンサンブルといえるかも知れません。他の楽器とのアンサンブルも大切な演奏能力でしょう。機会があればこの方面にも力を入れていきたい分野です。

今、私を含めてそれぞれの指導者が頭を痛めていることは、ハーモニカをフルートやヴァイオリン、ピアノと同じように**「立派な楽器として」**一般社会からも認められ、位置づけられる努力をすることが大切なことではないでしょうか。

そのために、教室の指導者は正しい音楽的な知識と指導力と、自分の演奏力を高める努力を日々積まなくてはならないとつくづく思うのです。

アンサンブル優勝には
アドラー・トリオの曲を

吉村　則次

2006年に開催された台湾での第6回アジア太平洋大会のアンサンブルの入賞者の曲は次のとおりでした。

トリオ

	国　名	曲　名	よく聞かれる演奏者	作曲者
1位	マレーシア	Harmonicadence	アドラー・トリオ	Schlomo Gronich
2位	マレーシア	時の踊り	アドラー・トリオ	ポンキエルリ
3位	台湾	Yesh Li Sympatia	アドラー・トリオ	Schlomo Gronich
4位	台湾	Two Guitars	アドラー・トリオ	ロシア民謡？
5位	香港	A Wind Blow	アドラー・トリオ	Schlomo Gronich
6位	マレーシア	Parisienne Fantasie	ジェリー・ムラッド	
7位	台湾	Concerto in C Major	コン・ブリオ	Vivaldi

4～6人アンサンブル

1位	マレーシア	Fiddler On the Roof	ジェリー・ムラッド 又はアドラー・トリオ又はコン・ブリオ	ピート・ピーダスン編曲
2位	マレーシア	A Stormy Sea	アドラー・トリオ	Schlomo Gronich
3位	台湾	モーツァルトの嬉遊曲K137		
4位	香港	Contrasts for Four Harmonicas	James Moody	
5位	マレーシア	セビリアの理髪師	ロッシーニ	

次回のコンテストの選曲になにか役に立ちますでしょうか？

「四方ハモ話 (8)」

光野　利一郎

どのような楽器でも演奏する以前に、その楽器の構造をよく理解すると言う事は重要であるし、簡単なチューニング位は自分で出来なくてはらない！とはよく言われる。 ピアノのようぅに専門の調律士が要る楽器は別にしても、ほとんどの楽器はそうである。
楽器の中でも我々の常識を越へた高い値段が付くのはヴァイオリンであるのはご存知の通り、 ヴァイオリン程ではないがギターを含む他の弦楽器類も他の楽器に比べて高価である。

アマチュアが持つものでも　うん百万円の物など珍しくないようである。
現に自分が知っている音楽教室にヴァイオリンを習いに来る小学生が、そんなのを持って来るそうである。
我々ハーモニカ吹きには考えられない世界である。ハーモニカならプロが使用しているものでも特殊なものを除いて、せいぜい数万円単位のものである。

そこで、そこそこの値段のヴァイオリンと高価なヴァイオリンとの音の差は、どれ位のものか？
教えてる先生の言によると名手が弾くと、はっきり言って聴き分けが付きにくいそうである、しかし違いが分るのは長い時間演奏していると、そこそこのヴァイオリンは疲れるのだが、高価なヴァイオリンは疲れを感じさせないし益々音が馴染んでくるのだそうだ。
聞いてみて、なるほどそんなものかと納得させられた。

どの楽器でもそうであるが特に弦楽器は他の楽器に比べて手工的な楽器のイメージが強い、それゆえ高価なことも伝説として許容出来るのかも知れない！
ところで、楽器の製作者は製作過程で演奏家以上にその楽器の特性を知っているはずである。それゆえ、この音はもっと響かねばならないなどと日夜思考錯誤しながら名器と呼ばれるものを作りり出して来たのだろう。

あらいなおこ　CD　発売
編　集　局

当連盟会員（理事）のあらいなおこがCDを発売されました。
タイトルは「開演」、2500円、発行所　POLON RECORDS
問い合わせ　あらいなおこ http://arainaoko/cute-site.com
なお、これを記念して同封チラシのとおり12/30コンサートが開かれる。
CD及びコンサートチケットの注文
郵便振替　00940-2-252535　加入者名 あらいなおこ
CDの注文は、送料200円を含め振り込みください。
チケットの申し込みは１２／２２まで

それには製作者自身が、それなりの優れた演奏技術を持っていたのだろう。
それでなければ、名手と呼ばれる演奏家達を満足さすような楽器は作れなかっただろうと思う。
現代は、ほとんどの楽器が機械による流れ作業によって大量に作られている。
したがって、そんなに耳が良くない職人さんでも調律にはチューナーがやってくれるので音に狂いはない！、しかしどんな楽器でも、その楽器の構造や特性を熟知しているのと、そうでないのとでは演奏する上で大きな違いが出る.、当然ハーモニカにおいても同じで　ある。
簡単な故障ならハーモニカを分解して修理する事も出来るが、ちょっと重傷の場合、自分の修理技術レベルでは中々上手く微調整が出来ず、無茶して何本かのハーモニカを壊してしまった経験がある。

ハーモニカが病気になってしまったら、いつも悩む事がある。、その値段が中途半端な為、プレート又はボディを取り替えるか？それともいっそ新品を買うか？　これが2000円以下のものなら面倒くさい思いをするより新品を購入するし、何万円以上もする楽器なら確実に修理の道を選ぶのだが、、、
先程のヴァイオリンの話に比べていかにも、、、スケールの小さな自分を感じるのである。
ともあれ、楽器の構造を知りメンテナンスが出来る事は大切なことである。
熟達者ともなれば自分の好みの音にまでチューングしてしまうのだ、、

先日（10月1日）連盟の研修会「複音ハーモニカの修理と調律」があった。
講師には鈴木楽器本社の現場で10年間ハーモニカの組立と修理にたずわり現在、ハーモニカ普及の為の宣伝活動や修理、調律の講演や演奏活動をされている、山口牧氏で修理調律のプロ中のプロである。
しかし、氏の演奏テクニックもプロの音であった、時間の都合でクロマティックとテンホールと最近発売された複音クロマティックの３種類のハーモニカをそれぞれ使い分け見事に演奏されて参加者を感心させていた。

自分で完全に修理調律が出来、その上演奏が上手ければ「鬼に金棒」「弁慶に薙刀」である。自分でもそうありたいと思うのだが、、、

匿　名

老人施設での演奏のプログラム

いい日旅立ち、遠くへ行きたい、無言坂（帰りたい、帰れない）、精霊流し、別れの曲、風の盆恋歌、マイ・ウエイ（終わりが近づいた）、タイム・トゥ・セイ・グッバイ（サラ・ブライトマン）

結婚式披露宴での演奏のプログラム

いい日旅立ち（せめて今日からひとりきり旅にでる）、マイ・ウエイ（終わりが近づいた）遠くへ行きたい（いつの日か愛する人と巡り逢いたい）、タイム・トゥ・セイ・グッバイ（サラ・ブライトマン）

ところで、この講習で改めて分った事が二つある！
一つは分解したプレートだけでも音が出ると言う事とと、もう一つは一度調子が悪くなったハーモニカを分解調律しても完全に元に戻す事は難しい！
〈特に自分の腕では〉と言うこと、、

今回、どこも悪くないハーモニカを持参され練習の為、分解して調子を悪くされた方が何人か居られました。
しかしこんな経験を繰り返し、チューニングも上手くなるんでしょうね、
でも勉強になりました。　お互い頑張りましょう！

岡直弥君　5000人の前で

吉村　則次

毎朝６時３０分から朝日ＡＢＣ放送ラジオで「おはようパーソナリティ道上洋三です」という、長く続いている番組があります。
１１／３祭日には、この放送が堺市の大泉緑地の野外ステージで公開で開催され、徳永延生氏が「枯葉」と「最初から今まで（冬のソナタ）」を、また12歳の岡直弥君が「ベサメムーチョ」を、ピアノトリオの伴奏で演奏された（演奏は午前８時すぎであった）。
聴衆は、朝早いのにもかかわらず、なんと5000人とのことであった。
事前にこの情報を得ていたハーモニカ愛好者も来られていたとのことが、5000人の中ではどこに誰がいるか分かりませんでした。写真参照

吉澤妙子さんがポール・モーリアの「恋はみずいろ」を追悼演奏

吉村　則次

「恋はみずいろ」「オリーブの首飾り」「エーゲ海の真珠」「涙のトッカータ」等のおなじみの名演奏で多くのかたに知られ、また愛されたポール・モーリアさんが１１／３にお亡くなりになった。81歳。
このことは、１１／５朝のテレビ、新聞等でいっせいに知らされましたが、たまたまこの日堺市の総合福祉会館で開催された南大阪ハーモニカ祭りで、当連盟会員の伊丹市の吉澤妙子さんが「恋はみずいろ」をカラオケを使って演奏された。
私もポール・モーリア楽団の演奏が好きで、来日時には今まで３回ほど中之島のフェスティバルホールに聞きに行きましたが、ハーモニカ奏者をともなって来られることが多く、クロード・ガルダン、ブレンダン・パワー（２回）を生で初めて聞いたのもこのポール・モーリア楽団の演奏会でした。
ハーモニカ愛好者のみなさんのために、私はこの会報の前々号でお知らせしたとおり「恋はみずいろ」「オリーブの首飾り」を含む５曲を演奏し、ＭＤに録音してカラオケ、楽譜とともに販売し、多くのかたに買っていただきましたが、同氏の逝去を追悼して、第２弾として「涙のトッカータ」「白い恋人たち」等６曲の演奏（クロマチック・ハーモニカ演奏）、カラオケ、楽譜の作成の準備をしております。

自分で作れるハーモニカの便利品の紹介

大津市・姉 川 敏 彦

① 簡単マウスピース

常に消毒綿を持っていればいいのですが、急に人様のハーモニカを修理しなければならないときがあります。直接口にするのも？というときに役立つのが 写真Ａです。

材料は、ドレッシングのキャップです。穴の大きさは、ハーモニカの１音分くらいです。

レールを付けるとハーモニカに乗せた場合、左右の移動がスムースです。

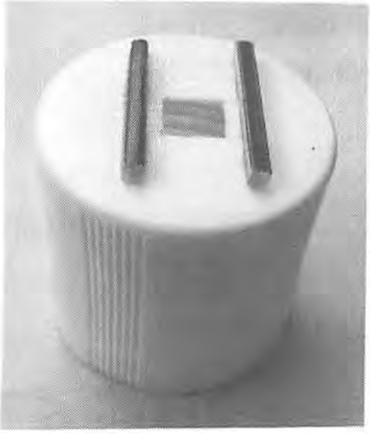
吹き・吸いの息も十分ですから、調律や調整には意外と便利です。

② 目で確認しながらの音階スケール

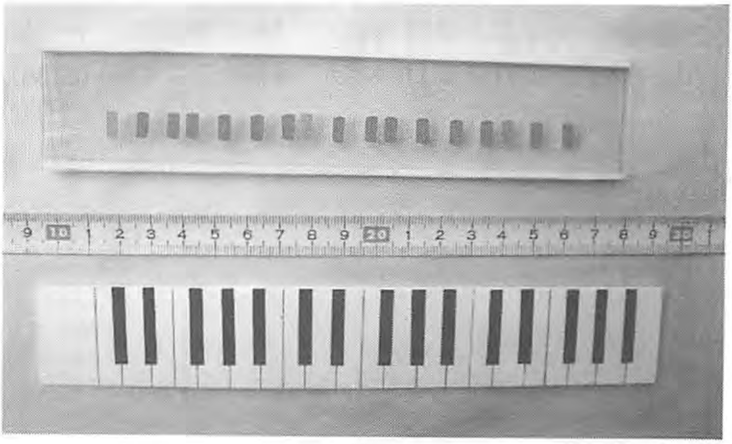
クロマチックで音階スケールを練習するときに、譜面があればその通りに吹いて練習ができますが、譜面がない場合は、ピアノの鍵盤をイメージして音階練習をしています。しかし、鍵盤をイメージできない人もいます。そんな人のために昔の計算尺をヒントに 写真Ｂを作りました。 はじめに鍵盤を作ります。次に全音・全音・全音・半音というように音階順にシールを貼った透明のスケールを作ります。組み立てれば完成です。基音（ド）を赤色シールとして、ニ長調ならばＤ・ヘ調ならＦに置きます。シールが重なったところを吹けば音階になります。

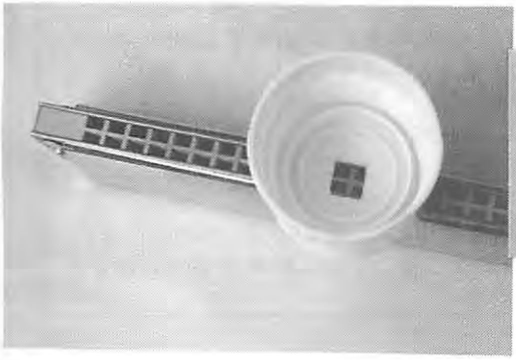
＊改良の余地がありますが、一度おためしください。

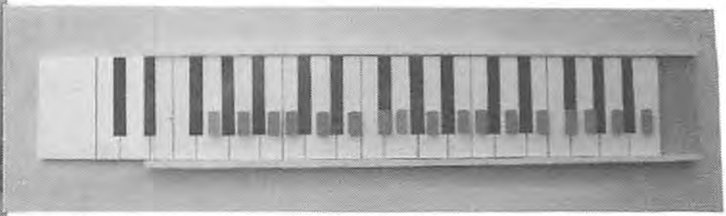
A



B







簡単マウスピース、クロマチックで使ってみましたが、うまく行きました。
非常にありがたいものです。 吉村 則次

イナバウアーもとび出したサマーコンサート

菅村　一雄

今夏は他のハーモニカグループからの出演依頼が入るなど、多忙な日々を過ごしました

なかでも、出演依頼のあった（当連盟顧問　筒井松太郎氏の）おにぎり村の夏まつりは村人のなかに入り、時のたつのも忘れ楽しませていただきました。ギター・ボーカルとの共演でしたが、１時間の持ち時間は瞬く間に過ぎ、思い出に残るコンサートとなりました

一方、びわこ学園の演奏では、今までクラシックをさけてきましたが、サマーコンサートでは、シューベルトの「ます」やプッチーニの「誰も寝てはならぬ」などを演奏しました。「ます」ではタンバリンが鳴り、「誰も寝てはならぬ」では荒川静香のあのイナバウアがあちこちで演じられるのです。これにはびっくりしました。会場は大爆笑でした。あまりいらぬ先入観はもたぬほうがよいと思いました。演奏曲については良い曲・良い演奏は会場の方々がよく知っておられるということです。

演奏活動

	８月１３日（日）	滋賀県竜王町おにぎり村の夏まつり　ギターボーカル共演	６０分
	８月１９日（土）	野洲市辻町ふれあい納涼祭（第7回）	２０分
	８月３１日（木）	ほほえみの里びわこ学園　サマーコンサート（第15回）	６０分
	９月２４日（日）	野洲市祇王地区健康長寿のつどい	２０分
	１０月１２日（木）	ほほえみの里びわこ学園　偶数月コンサート（第16回）	６０分
予定	１１月１９日（日）	野洲市祇王地区芸能発表会　ハーモニカ・アザレアでグループ演奏	２０分
予定	１１月２３日（木）	野洲市にっこり祭（収穫祭）（第23回）　後援　びわこ放送	３０分

ほほえみの里びわこ学園

ハーモニカサマーコンサート（第１５回）

平成１８年８月３１日（木）AM10:30~11:30

複音・クロマチックハーモニカ 演奏者 菅村 一雄
お茶席 菅村 宗和

一部 オープニング曲 真珠貝の歌ハワイアンより CH、うみG、われは海の子D#、しゃぼん玉D、椰子の実A、南の島のハメハメ大王CH、岬めぐり 山本厚太郎&ウイークエンドF-F#、ふるさとのはなしをしましょうA#

ティータイム お抹茶で一休み

二部

島人の宝CH、花笠道中A#、二輪草G#、花(喜納昌吉)C、ますCH、木星CH、誰も寝てはならぬCH、今日の日はさようなら(全員合唱)

プログラムは送らないでください。

編集局長

ハーモニカのコンサートを会報上で報告をいただくときに、そのプログラムも送ってこられるかたがままあります。プログラムは、そのコンサートの全貌を知るのに非常に適切なものですが、これをそのまま会報に掲載して行くと、スペースをとって会報がプログラムだらけになってしまいます。その中から編集局の方で適当に抜粋して掲載してほしいという意図も伺えますが、第三者では、提供者がどれに重点を置いて欲しいのか、どれを掲載して欲しいのかわかりませんので、それも困ります。

「百聞は一見にしかず」と言って、写真もよく物事を現してくれますから、歓迎されるものですが、数枚を送ってこられ、この中から編集局で選択してほしいというかたがありますが、これも困ります。提供者が本当にどれを出して欲しいのか、第三者では分からないからです。

会場内外での、整列した記念写真は、暗いステージでの写真より品質は高いものであり、全員が写りますので記念に置いておくのにはいいものですが、会報ではそれよりも実際にステージでハーモニカを持って演奏している写真が歓迎されているものと思います。また記念写真を撮るときには、せめてハーモニカを手に持って撮られてはいかがでしょうか。

写真は会報の中で場所をとりますから、不必要な部分をトリミングさせていただいて、提供いただいたものは使わなかったものを含め、用済み後お返ししております。

新しいハーモニカＣＤ

吉村　則次

◎マイク・ターク　A little taste of CANNONBALL　organic music 9708　1869円
◎オリバー・カー・ウーリオ　SIROKO フランスe-motive records NT095　2289円

マイク・タークは、アメリカのジャズハーモニカ奏者。私はアメリカのＳＰＡＨ大会でお会いしたし、彼の自家製のＣＤ２枚を国内で販売したこともある。しかし、今回1999年録音のものが市中のＣＤ店に出ていたことは非常にうれしい。

オリバー・カー・ウーリオは名前だけは知っていたような気がするが、音に接するのは初めて、ＣＤも初めてである。

上記２件は、東京の秋葉原の石丸電気ソフト３号店で見つけた。私のようなハーモニカオタクの心をくすぐるようなものまであり、東京はすごいと思う。

秋葉原に行ったら、フィギュアやソフトやメード喫茶やアニメだけでなく、このような店にも行ってみてください。何か収穫があります。

◎あらいなおこ（当連盟理事）　「開演」　POLON　RECORDS　2500円
　問　あらいなおこ　http://arainaoko/cute-site.com
　別ページの案内参照。

会員異動のお知らせ(’07/01月号)

2006/11/9 現在

個人情報保護のお知らせ

組織部長

当連盟では名簿を公開しておりますが、本人の申し出があれば個人情報(町名・地番・電話番号等)を非公開にできることが、2004/07/12の常任理事会により決議されました。

会報第169号(2006年10月号)でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。

新入会

	氏　名	〒	住所		電話番号	受付日
1	久保　良子	578-0901	東大阪市加納	3-9-13-103	0729-62-8226	’06/08/26
2	徳野　敏子	547-0011	大阪市平野区長吉出戸	7-5-34	06-6707-6341	’06/09/15
3	芝田　安生	630-0213	生駒市東生駒	3-207-194	0743-74-4312	’06/10/15
4	田中　利勝	578-0936	東大阪市花園西町	1-5-4	072-965-5264	’06/11/01
5	竹本　雅英	639-1101	奈良県大和郡山市下三橋町	323-74	0743-53-2265	’06/11/06

’05/10/16～’06/10/14の入会者が’06年度会員となります。
’06 ハーモニカ祭り(10/15開催) 以降の入会者は、’07年度会員とします。

退会

	氏名			理由		受付日
1	渡辺　忠夫					’06/10/08
2	六島　昭治			逝去		’06/10/27

現在の会員数は　280 名です。

お願い；住所・住居表示・電話番号・市外局番等 名簿記載事項の変更は組織部へおしらせ下さい。

日本ハーモニカ芸術協会の関西関連の役員

編　集　局　長

日本ハーモニカ芸術協会の会報「口琴藝術」2006年夏号によると、2006／4／1現在、同会の役員のうち関西のかたは次のとおり。

常務理事　仲村　眞、西田幸司

関西支部連合会　会長　渡辺　昇、副会長　仲村　眞、顧問　西田幸司、事務局長　後藤貞男

支部長　京都　吹上晴彦、京都北　山村信彦、宇治　梅田恒弘、東宇治　村田　潤
京田辺　保理江元子、大阪北　織田太郎、摂津　畑　婦美子、交野　金川　一
岸和田　後藤貞男、堺　寺村安雄、堺北　梁木　進、丹波　渡辺　昇
神戸　西田幸司、西神戸　村上浩一、明石　戸田秀德、神戸北　高阪他美子
奈良　藤本　勇、奈良生駒　村上博昭　以上１８人

六島昭治さんの死を悼む

村上　浩一

平成18年10月27日の夜、六島さんの奥様から、主人が亡くなったとの電話があり、驚きました。

８月下旬に入院され、お見舞いに行こうと思いながら、ついつい機会を失い、本当に残念でなりません。

顧みますと、六島さんは平成５年の春、尼崎大庄公民館に来館され、公民館のクラブ活動で昭和58年からつづいているハーモニカ愛好会（現在の尼崎ハーモニカ・エコーズ）に入会されました。

若いときからハーモニカを吹いて、クラシック、特にヨハン・シュトラウスのワルツが大好きで、殆ど曲は覚えているという事でした。

とにかく熱心な方で、毎月２回の練習と年１回の発表会にも欠かさず出ておられました。

また、連盟主催のハーモニカ祭り、佐秀会関西支部連合会主催のハーモニカコンサート、関西ハーモニカ・ポップス友の会主催のコンサート等々殆ど出演されていました。

特に異色なのは、左手でピアノ伴奏をして、右手でハーモニカ２本を持って演奏するという本当に器用な方でした。

昨年、体調をこわし、一時入院されましたが、１カ月程度で退院、ことしも年明けから元気でしたが、４月に入院、５月に退院され、７月の茨木市ユーアイホールでは、ハーモニカ10本を使って皇帝円舞曲を演奏されました。

その後８月下旬に再び入院、10月14日の尼崎ハーモニカ・エコーズ第21回たのしいハーモニカコンサートではツィゴイネルワイゼン、10月15日大阪狭山市の「さやかホール」ではスケーターワルツと出演申し込みをされていましたが、いずれも入院中のため演奏かなわず、さぞ残念であったろうと思います。享年79歳。

まだまだ、これからの人生、本当に惜しい方をなくしました。

心からご冥福をお祈りいたします。　　　　　　　　　　合掌

前列一番右端のかたが六島昭治さんです。

HARMONICA

関西ハーモニカ連盟